

AMG 育休復帰準備セミナー

『スマート・リターン』第3回 in千葉

平成27年6月27日(土)

14:30~16:30

於：船橋総合病院 参加者：**32名**

平成27年6月に第3回AMG育休復帰準備セミナー「スマート・リターン」を千葉で実施し、育休中職員10名含む32名に参加頂きました。お子さん連れの方も多く、とても賑やかなセミナーとなりました。

今回から、プレママ・ママ向けブースと、総務担当・職種チーフ向けブースに分けて実施しました。参加した女性職員には、職場復帰に関するイメージを与えることができ、総務課職員・職種チーフにはママ職員への配慮や話し合うきっかけづくりを促すことができました。第4回は、平成27年10月に埼玉で実施しており、今後は病院ごとに開催していく予定です。

セミナープログラム

1. AMG女性管理職からのエール

船橋総合病院 医療福祉相談課 課長 橋本 もも

2. パネルディスカッション

<ママ・プレママ向けブース>

- ①自分の働き方を考える
- ②保育園探しの厳しい現状
- ③制度利用者から見た時短勤務のメリット・デメリット
- ④双子妊娠・チーフ職…前例のない中での職場復帰
- ⑤1人1人を大切にしてくれる…この職場で働きたい！

<総務担当・職種チーフ向けブース>

- ①保活の厳しい現状紹介
- ②現場チーフによる復職支援紹介
船橋総合病院 リハビリテーション科 みんなチームの一員！1人1人を気遣える職場へ
- ③総務課の復職支援紹介
杉並リハビリテーション病院 総務課 「ママさんパス」の作成・運用について
- ④マタハラ防止に向けて
- ⑤総務課 よくあるQ&A

3. 全体質問会



▲パネリストの皆様

船橋：橋本課長(相談員)・木村科長・相馬さん(リハ)・津田沼：畠山係長(医師事務)
杉並：大山課長・田上さん(総務)・AMG協議会：飛島課長・梅川主任・桑野さん(事務)



▲グループワークの様子

▶ 杉並リハビリテーション病院「ママさんパス」紹介

杉並リハビリテーション病院は、平成27年1月に東京ワークライフバランス認定企業に選ばれており、仕事と育児の両立推進に向けて様々な取り組みを行っています。その取り組みの中から、出産・育児関連制度のオリジナルリーフレット「ママさんパス」について総務担当・職種チーフ向けブースで紹介して頂きました。

ママさんパスの利用により、総務担当者は育休中職員の状況を把握することができ、職員は子育て支援に関する制度を理解し、出産前から小学校入学までの自身のスケジュールを管理することができます。杉並リハビリテーション病院では、平成26年度育児休業者の職場復帰率は100%を達成し、ママ職員と職場間の信頼関係構築へと繋がっています。



◀ ワークライフバランスフェスタ東京2015での杉並リハビリテーション病院ブースの様子

▶ 総務担当・職種チーフ向けブースの様子



子育て支援制度

各制度の説明

項目	内容
育児休業	育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。休業期間中は、育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。
育児休業	育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。休業期間中は、育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。
育児休業	育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。休業期間中は、育児休業給付金(雇用保険)の受給期間が延長されることにより、育児休業期間中に収入が減少することを補填する。

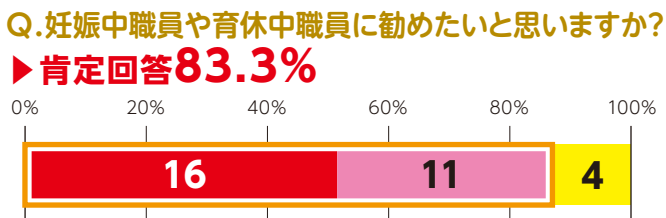
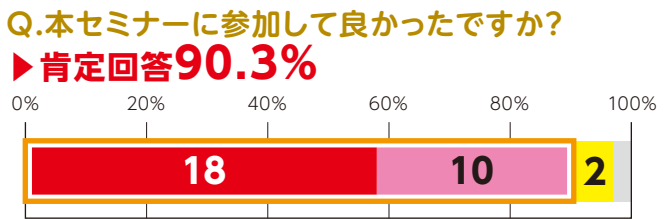
各職員の
出産予定日～育児休業終了日までの
予定を書き込んで説明

妊娠期間～子の小学校入学まで
それぞれのタイミングで利用できる
制度・必要な届出書類がわかる

◀ オリジナルリーフレット「ママさんパス」

▶ 参加者からの声

- ▶ 参加者32名：病院26名、老健6名
 - ▶ アンケート回収31名
：総務チーフ・担当14名、育休中10名、職種チーフ3名、その他4名
- 5段階評価▶ 思う 5 4 3 2 1 未記入 思わない
- 肯定回答 ※グラフ内数字は人数



復帰後どのように働いていきたいか、再度考える良い機会になった。(育休中職員)

実際の制度について分かり、取り組みの活かし方も参考になった。(総務担当職員)

実体験を聞いて安心できた。(育休中職員)

利用可能な制度を賢く利用することを勧めたいと思う。(職種チーフ職員)

育休中不安なことも多いので、話を聞いて今後のことを具体的に考えていけると思う。(育休中職員)